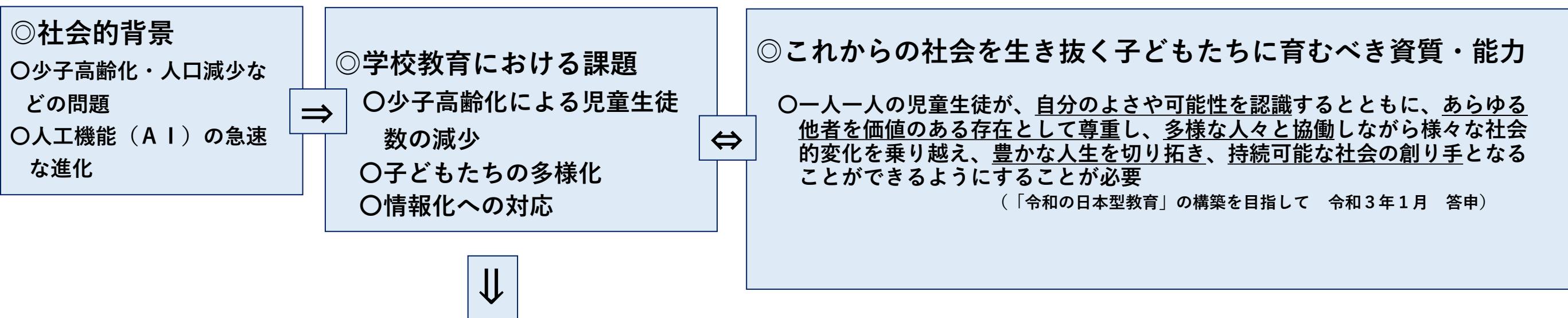


## これからの学校教育に求められるもの

一急激に変化する予測困難な時代を生き抜いていく子どもたちのためにー

資料No.3



### □現行「学習指導要領」

- ◎新しい時代に必要となる資質・能力の育成
  - 生きて働く知識・技能の習得
  - 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
  - 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養

### ◎子どもたちの学び

- ～主体的・対話的で深い学び～  
○「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業をすすめる。

#### ◇「令和の日本型教育」

- ◎「個別最適な学び」と「協働的な学び」
  - 子どもたち一人一人が、自分のペースで自分に合った学び方を選択し、必要に応じて必要な人と共に学び合えるような授業づくりをすすめる
  - 探究的な学びを充実させ、自分なりの問い合わせを立て、自分なりの学び方で、自分なりの答えにたどり着く、子どもたちの自己決定を尊重する
    - ・一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」「もっと!」と思える授業に
    - ・自分なりの課題を見つけ、見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に
    - ・周りの人たちと共に考え、学び、深め、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に
    - ・自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に
    - ・ICTを効果的に活用する授業に（教室の外や学校の外での学びの保障、特別な支援が必要な児童生徒へのきめ細かな支援、個々の能力を伸ばす学びの機会の提供）

### ◎体験活動の重要性

- AIが導入されても、五感を使った体験が「学び」の原点となる。
- 体験は、「豊かな人間性」や「自ら学び、考える力」などの『生きる力』の基盤や、子どもの成長の糧となる。

### ◎社会とつながる学校

- 学校教育の目標は、学校だけでなく、社会全体で共有する。
- 学校教育は教室の中だけでなく、地域や社会と連携して展開する。
- 学校教育に、地域住民が参画する。

### □辰野町が目指す教育ビジョン

- ◇「明日も行きたくなる学校」
- 楽しい毎日・充実した学校生活の提供
- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造
  - 質の高い教育を一人一人に
  - 誰一人取り残さない教育
  - 最先端のICT教育の推進
  - 地域を学ぶ 地域で学ぶ 地域と学ぶ
  - 健康を守り安全を確保する取組
  - 異文化理解・グローバルな視野を持つ子どもの育成

### □第2回あり方検討委員会において委員の皆様から出されたご意見

- 子どもたちにこんな学びをさせてあげたい
  - 自然体験、社会体験等体験を大切にした学び
  - 社会とつながる学び
  - 多様性を大切にした学び
- こんな学校ができたらいいな
  - 子どもたちの様々なニーズに対応でき、また、様々な選択肢のある学校。多様性を持った子どもたちが学べる環境があるとともに、つまずいた時の居場所が確保できるように。
  - 子どもも親も教師も笑顔があふれ、みんなが元気で楽しめる学校。いじめ、不登校がない学校。